

平成17年度 第2次試験 【事例】

与件を活用した解答例

第1問(配点25点)

(a)	売上高対総利益率	(b)	20.1%
(c)	問題点は、鉄とアルミの分別が不十分なため、出荷製品の純度が低くなって販売価格が安くなるなど、収益性が低いことである。		

(a)	自己資本比率	(b)	12.5%
(c)	問題点は、運転資金や設備投資資金などの資金繰りを全額短期と長期の借入金により賄っているため、安全性が低いことである。		

第2問(配点25点)

(設問1)

平成17年度予想貸借対照表 (単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	( 230 )	流動負債	200
現金等	140	短期借入金	200
受取手形・売掛金	( 60 )	固定負債	( 700 )
棚卸資産	30	長期借入金	( 700 )
固定資産	( 782 )	負債合計	( 900 )
土地	100	資本の部	
建物・機械装置	( 682 )	資本金	100
		当期末処分利益	( 12 )
		資本合計	( 112 )
資産合計	( )	負債・資本合計	( 1012 )

平成17年度予想損益計算書(単位:百万円) 平成17年度予想製造原価報告書(単位:百万円)

売上高	( 1200 )
売上原価	( 850 )
売上総利益	( 350 )
販売費・一般管理費	240
営業利益	( 110 )
営業外収益	0
営業外費用	( 90 )
経常利益	( 20 )
特別利益	0
特別損失	0
税引前当期利益	( 20 )
法人税等	( 8 )
当期純利益	( 12 )
前期繰越利益	0
当期未処分利益	( 12 )

材料費	400
労務費	( 108 )
経費	( 342 )
(うち、水道光熱費)	( 80 )
(うち、減価償却費)	( 118 )
(うち、運搬費)	( 45 )
当期製造費用	( 850 )
期首仕掛品棚卸高	0
期末仕掛品棚卸高	0
当期製品製造原価	( 850 )

(設問2)

(a)	販売価格の値上げや運搬費の低減により収益性が向上する点である。
-----	---------------------------------

(b)	設備投資額を全額借入金で賄うため安全性が更に悪化する点である。
-----	---------------------------------

第3問(配点25点)

(設問1)

(a)	998百万円
(b)	99.8%

(設問2)

平成17年度の損益分岐点の特徴は、16年度と比較して、販売費・一般管理費等の固定費の増加で損益分岐点の売上高が上昇するが、販売価格の上昇による売上高の増加によって、損益分岐点比率は低下するように変化する。
--

第4問(配点25点)

(設問1)

	4.16億円
--	--------

(設問2)

(a)	5億円
(b)	現時点で原材料を購入の方が期待値において有利である。